



2018-19年度R.I.テーマ  
インスピレーションになろう

第2782回 例会  
2019. 5. 23

会長あいさつ



2018-2019年度 樋口 雅之 会長

週報 No.2115  
発行 2019年 6月6日  
会長 樋口 雅之  
幹事 宇多村海児  
副会長 須田 悦正  
副幹事 斎藤 修弘  
編集責任者・公共イメージ向上委員会  
委員長 齋藤 哲雄

ビジター・ゲスト

地区青少年奉仕部門  
青少年交換委員会  
委員長 鈴木伸雄様  
(春日部イブニングRC)

2018-19年度 ROTEX  
幹部・会計 尾曾菜穂子さん

行事予定

6月13日 会員卓前「全国から  
注文がくる花屋さん」  
横山泰史会員  
6月20日 「一年を顧みて」  
各委員長  
6月27日 最終例会

皆さまこんばんは。本日は本年度第43回の夜間例会に皆さまお越しいただきまして、誠にありがとうございます。本日は、国際ロータリー第2770地区 青少年交換委員会 委員長 鈴木伸雄様、青少年交換学友 尾曾菜穂子さん、ようこそいらっしゃいます！

さて、この1週間ですが、まずは5月19日(日)に、平方野球場にて、野球部の練習会が開催されました。今回は少数精鋭で4名の参加でした。キャッチボールと、キャッチャーを座らせてのピッチング練習、そしてノックと1時間ほど汗を流しました。当日は我々が練習でグラウンドを使わせていただく前の時間帯が、上尾市の野球大会の準決勝の試合をしていまして、練習前にその試合が終わるのを観戦しながら待っていました。どちらのチームもかなりレベルが高く、このくらい強かったらきっと試合も楽しいだろうと話しながら観ていました。甲子園野球大会まであと1ヶ月、5月24日(金)夜には尾花監督のバッテリーセンターにて打撃練習と、ミーティングが予定されておりますので、多数の選手の皆さまのご参加をお願いいたします。

そして昨日5月22日(水)には、本年度最終回となる第5グループ会長幹事会、そして新田会長幹事と懇話会の合同会議がここ東武バンケットホールにて開催されました。本年度会長幹事会では、各クラブより財団・米山寄付、会員増強、マイロータリー登録についての達成率報告と、ハンブルク国際大会の登録人数の報告がありました。わが上尾RCではいずれも既に100%を達成しており、また会員増強は目標3名のところを4名増強と当グループではトップということでした。皆さまのご協力に改めて感謝申し上げます。また、1年間の感想とお礼を各クラブの会長幹事一人一人が発表し、肩の荷が下りたというような気楽な雰囲気でした。

新田合同会議においては、次年度ガバナー補佐の島村さんよりご挨拶と、次年度ガバナー補佐幹事の齋藤博重さんの紹介、本年度会長幹事の紹介、次年度会長幹事の紹介、そして山口ガバナー補佐から島村次年度ガバナー補佐へグループ旗の引き渡し式が行われました。次年度の皆さまは、これからの1年数ヶ月に非常に気合が入っている様子の方、とても緊張されている方など、本年度の気楽な雰囲気とは正反

対でした。須田次年度会長も、立派に挨拶をされておりました。次年度の毎週の会長挨拶を楽しみにしております。次年度は上尾RCからガバナー補佐輩出という重要な年度になりますので、引き続き皆さまのご協力をお願いしたいと思います。

この合同会議の中で、大貫直前ガバナーより、「2019規定審議会報告」の卓話がありました。可決事項のなかで皆様に関係すると思われるものは、  
・メーキャップは年度内に済ませればよい。  
・職業分類による会員数の制限を削除。  
・人頭分担金を2020年より年1ドルずつ値上げ。  
の3項目でしょうか。

さて本日の例会主題は、地区青少年交換委員会 鈴木伸雄委員長と青少年交換学友 尾曾菜穂子さんにお話しをしていただきます。私も以前、地区青少年交換委員会に2年間出向させていただき、大変お世話になりました。また、自分の子供たちもタイミンが合えば是非、ロータリーの青少年交換プログラムを利用して留学させたいなと思っております。

来週5月29日より6月5日まで、ドイツ・ハンブルク国際大会に行っておりまして。本日もどうぞよろしくお願いいたします。

幹事報告

宇多村 海児幹事

◇ロータリーの友編集部より、情報提供の依頼です。テーマはクラブの「同好会・課外活動」です。8月号で特集されるそうです。  
◇2019-2020公共イメージ部門・ロータリー財団部門から、「たすきで繋ごうロータリーEND POLIOプロジェクト」のご案内で、プロジェクトに伴って赤いTシャツを購入しませんか、というお誘いです。サイズはS~XL、1枚1500円(税別)です。

委員長報告

須田 悦正 会長エレクト

世界ポリオデーについて、上尾西RCさん、上尾北RCさん、当クラブの合同イベントを東武バンケットホールにて開催しようと企画中で、先ほど幹事報告にあったEND POLIO Tシャツは全員で着たいと思います。宇多村幹事に購入手配をお願いする所存です。よろしくお願いたします。

結婚・誕生祝い

お誕生日 おめでとうございます！

深澤 圭司会員

5月9日に誕生日を迎えました。昭和、平成、令和という3つの時代を生きたことに感動をおぼえています。近所のおじいさんは大正生まれなので、4つの時代を生きてきたことになりま。来年はオリンピックを見れるということで、長生きしているということがあるなあと思っています。今後ともロータリー活動に邁進していきますのでどうぞよろしくお願いたします。



結婚記念日 おめでとうございます！

武重 秀雄会員

今日出席している中では最古参です。まだまだロータリーライフを楽しんでいると思います。子どもたちはみな、独立しています。結婚祝いをいただきありがとうございます。



例会主題

青少年交換委員会について

ROTEX体験談

地区青少年交換委員会 委員長 鈴木伸雄様

5月=青少年奉仕月間ということでお招きいただきありがとうございます。現状をご説明させていただきます。いま派遣候補生は15名です。7月~9月にかけて海外に派遣されることで、スポンサークラブに書類のお願いをしているところです。書類が揃うと、海外からの学生が来日し、国内の学生は海外へ派遣されます。5月19日(日)に派遣学生は決意表明のスピーチを行いました。6月16日(日)には大宮パイオランドで今年度の来日学生が帰国のスピーチを行い、清水園でフェアウェルパーティーと派遣性の壮行会を予定しています。次年度は



12名を予定していますが、PETSから話しているのは、クラブの会員のご子弟に応募していただきたいということです。クラブ活性化のツールの1つとして利用していただきたいと思っております。会員のご子弟が、「クラブのお子さん・お孫さん」となっても一体感をもって応援することができるようになります。派遣性になりまして、2年間ロータリーに携わることになります。1年目は研修で、留学するとエクスチェンジで来日生がクラブの例会に来てくれます。派遣性が帰ってくる報告があり、またROTEXになって長いおつきあいにあります。

中学3年~高校2年生のお子さん・お孫さんで、海外に派遣されても留年ということはありません。埼玉県・上田知事から親善大使として委嘱状をいただきます。これは大学に進学する際のクレジットになりますので、帰国されたROTEXの皆さんも、進学にはそれぞれ工夫された志望校に進学されています。委員会では各種方面に推薦状をだし、派遣候補生・派遣性・青少年交換学友まで地区との連携で将来にむけてのサポートをさせていただきます。派遣生への応募はクラブの推薦がなければ基本的には合格です。派遣性からは「人生をわけた」という感想を皆さん仰います。世界でいちばん安全といわれる留学プログラムですので、ぜひご参加いただきたいと思っております。合格されるとどうなるかということ尾曾さんにご紹介いただきたいと思っております。

2018-19年度 ROTEX 幹部・会計 尾曾菜穂子さん  
(スポンサー・幸手中央RC 16-17年度オーストラリア派遣 立教大異文化コミュニケーション学部)

上尾RCの皆様、こんばんは！本日は卓話の機会をいただき、ありがとうございます。私は本年度ROTEX幹部の会計を務めさせていただきます。

ROTEXとはどういった団体なんでしょうか。ROTEXとは、国際ロータリー青少年交換プログラムによる一年間の海外での留学生生活を経験し、日本へ帰国した帰国学生による組織です。

ROTEXのお仕事は、留学した自らの経験を活かし、これから留学する日本人の学生、留学中の日本人学生、来日学生をサポートすることです。具体的には、以下のような活動があります。◇毎月行われる勉強会の運営◇オリエンテーションのサポート◇ROTEX企画の立ち上げ、運営◇ツアーへの動向

ROTEXの中でも幹部メンバーは、委員会や部門セミナー、様々な会議にも参加し、中心的な役割を担って

ます。また各ロータリークラブの例会に呼ばれた際には、本日のように卓話をさせて頂いたり、部門セミナーでのスピーチを行うなど、公式な場で話をする機会も多々あります。

学生達と年齢が近いことや、自らの留学経験を活かしロータリーの方や各クラブ、ホストファミリーとの橋渡しの役割を担い、進んで相談役に回るなど、学生達の精神的な面でのケアも行っています。

今年度は特に、私達が派遣生に直接関わることでできる勉強会に力を入れました。派遣生が海外に派遣された際に「日本の親善大使」として立派に1年間を過ごせるよう、日本に関する知識、海外でのコミュニケーションの取り方などを、グループディスカッション、スピーチ発表などの方法を取り入れながら教えました。

また、ROTEX企画では、留学生が来日してからすぐ都内の観光地を巡るシティツアーを、来日後すぐの段階で行うことで、インバウンド士の仲を深めることに成功しました。年末にはクリスマス会を開催し、インバウンドとアウトバウンドがコミュニケーションを取れる機会をつくりました。

私のROTEX活動のバッションを3つお伝えします。

一つ目に、ROTEXサポートを通して、これから留学する学生が、留学に向けて具体的な準備をすることができることです。近頃はさまざまな留学プログラムがありますよね。留学斡旋業者も多数あります。しかし、留学経験者から直接サポートを受けるような制度は限られています。学生にとって、経験者からの学びというのは大変具体的に分かりやすいものです。留学のための書類のことや、派遣先に宛てて書く手紙、留学後の進路のことなど心配事はつきませんでした。同じ高校に通っていた先輩方は大変具体的なサポートをしてくれました。ROTEX、留学経験者からのきめ細かなサポートは派遣生によって心強く、必要不可欠であると言えるのです。

二つ目に、私たちのROTEX活動は、留学させていただいた恩返しをしようという気持ちに基づきます。またそれと同時に、自身の経験を語り、活かす唯一の場所であるとも言えます。帰国後の学生は、逆カルチャーショックにみまわれたり、受験戦争を経験したり、目まぐるしく忙しいものです。そのため、私たちは自らの経験を語る機会が少ないです。海外で親元を離れて生活したせいかくの特別な経験を、誰かに共有したり、受け継ぐためにも、学生に対するサポートが自らの経験を語る最大のチャンスとなるわけです。既にご紹介致しましたが、年に二回程行われる座談会では、多くのROTEXが参加します。そこ

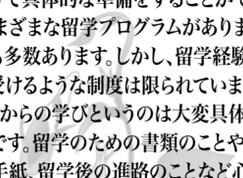
で留学経験を語り、写真を見せながら話す彼らはとても生き生きとしています。先日行われた座談会でも、私自身がとても興奮して話しておりました。みんな夢中で声が大きくなってしまっ、喉が痛くなる程でした。ROTEXからのサポートは、これから留学をする学生だけでなく、ROTEXメンバー自身にとっても実は、ベネフィットがあるのです。

三つ目に、学生たちがとにかく可愛い後輩であることです。15歳から18歳の留学を志望した勇気ある学生達は、不安や期待でいっぱいです。まだまだ知らないことも沢山ありますし、未経験だからこそ、純粋な留学への情熱もあります。ROTEX活動の大きな柱の一つの勉強会では、オリエンテーションでのスピーチやプレゼンテーション、派遣先での例会へ向けて、必要なスキルと知識を身につけることを目標としています。先週日曜日のオリエンテーションでは、出発スピーチに向けてパワーポイントを使いそれぞれの派遣先でやりたいことについて話してもらいました。発表は大変個性にあふれていて、自信いっばいな彼らの姿を見て、一生懸命練習し、準備してきた努力が目に見え、来日学生もとても可愛い存在です。先週のオリエンテーションでは将来の夢についてのスピーチをしてもらい、とても嬉しい気持ちでいっぱいになりました。後輩がいいたら、夏に帰ってきた新ROTEXもとても可愛い存在です。彼らこそ、帰国後の逆カルチャーショックと戦ったり、受験で戦っている真つ最

中ですが、忙しい合間をぬって、頑張ってきてくれています。今年度の新ROTEXは特に頑張ってくれていて、ほぼ必ずと言っていいほど毎回来ってくれる学生が何名もいます。サポートしている学生がとても可愛いこと、彼らが留学経験を終えてから時間の経った私たちに様々な刺激を与えてくれることも、私がROTEX活動を続けている理由の一つです。

ROTEX活動の意義は語り尽くせませんが、以上の三つが私のバッションです。ロータリーを通して1年間海外に留学させて頂いたことは、私達の人生において、非常に有益な経験となりました。それはロータリーの皆様の多大な支援があってこそのものでした。

仲間と共に活動することの楽しさや、活動を通じて得ることのできる達成感があるからこそ、皆がボランティアで集まり、ROTEX活動が代々引き継がれています。1年を通して学生をサポートすることで、彼らの成長を間近で見ることができ、自分自身の責任感やリーダーシップを養うこともできます。今年度も間もなく引継ぎの時期にはなりますが、今後も地区や学生達の支えとなれるよう、精一杯務めてまいります。



で留学経験を語り、写真を見せながら話す彼らはとても生き生きとしています。先日行われた座談会でも、私自身がとても興奮して話しておりました。みんな夢中で声が大きくなってしまっ、喉が痛くなる程でした。ROTEXからのサポートは、これから留学をする学生だけでなく、ROTEXメンバー自身にとっても実は、ベネフィットがあるのです。

三つ目に、学生たちがとにかく可愛い後輩であることです。15歳から18歳の留学を志望した勇気ある学生達は、不安や期待でいっぱいです。まだまだ知らないことも沢山ありますし、未経験だからこそ、純粋な留学への情熱もあります。ROTEX活動の大きな柱の一つの勉強会では、オリエンテーションでのスピーチやプレゼンテーション、派遣先での例会へ向けて、必要なスキルと知識を身につけることを目標としています。先週日曜日のオリエンテーションでは、出発スピーチに向けてパワーポイントを使いそれぞれの派遣先でやりたいことについて話してもらいました。発表は大変個性にあふれていて、自信いっばいな彼らの姿を見て、一生懸命練習し、準備してきた努力が目に見え、来日学生もとても可愛い存在です。先週のオリエンテーションでは将来の夢についてのスピーチをしてもらい、とても嬉しい気持ちでいっぱいになりました。後輩がいいたら、夏に帰ってきた新ROTEXもとても可愛い存在です。彼らこそ、帰国後の逆カルチャーショックと戦ったり、受験で戦っている真つ最

中ですが、忙しい合間をぬって、頑張ってきてくれています。今年度の新ROTEXは特に頑張ってくれていて、ほぼ必ずと言っていいほど毎回来ってくれる学生が何名もいます。サポートしている学生がとても可愛いこと、彼らが留学経験を終えてから時間の経った私たちに様々な刺激を与えてくれることも、私がROTEX活動を続けている理由の一つです。

ROTEX活動の意義は語り尽くせませんが、以上の三つが私のバッションです。ロータリーを通して1年間海外に留学させて頂いたことは、私達の人生において、非常に有益な経験となりました。それはロータリーの皆様の多大な支援があってこそのものでした。

仲間と共に活動することの楽しさや、活動を通じて得ることのできる達成感があるからこそ、皆がボランティアで集まり、ROTEX活動が代々引き継がれています。1年を通して学生をサポートすることで、彼らの成長を間近で見ることができ、自分自身の責任感やリーダーシップを養うこともできます。今年度も間もなく引継ぎの時期にはなりますが、今後も地区や学生達の支えとなれるよう、精一杯務めてまいります。

で留学経験を語り、写真を見せながら話す彼らはとても生き生きとしています。先日行われた座談会でも、私自身がとても興奮して話しておりました。みんな夢中で声が大きくなってしまっ、喉が痛くなる程でした。ROTEXからのサポートは、これから留学をする学生だけでなく、ROTEXメンバー自身にとっても実は、ベネフィットがあるのです。

三つ目に、学生たちがとにかく可愛い後輩であることです。15歳から18歳の留学を志望した勇気ある学生達は、不安や期待でいっぱいです。まだまだ知らないことも沢山ありますし、未経験だからこそ、純粋な留学への情熱もあります。ROTEX活動の大きな柱の一つの勉強会では、オリエンテーションでのスピーチやプレゼンテーション、派遣先での例会へ向けて、必要なスキルと知識を身につけることを目標としています。先週日曜日のオリエンテーションでは、出発スピーチに向けてパワーポイントを使いそれぞれの派遣先でやりたいことについて話してもらいました。発表は大変個性にあふれていて、自信いっばいな彼らの姿を見て、一生懸命練習し、準備してきた努力が目に見え、来日学生もとても可愛い存在です。先週のオリエンテーションでは将来の夢についてのスピーチをしてもらい、とても嬉しい気持ちでいっぱいになりました。後輩がいいたら、夏に帰ってきた新RO